

平成 30 年度 社会福祉法人宇治明星園 事業活動(経営)計画
(平成 30 年 3 月 16 日 第 273 回 理事会)

スローガン

「未来を拓く人づくりを進め、荒波に負けない体力(財務の健全化)と知力(事業推進)を磨く」

活動方針

- 1) 法人内の老朽化した建物の事業継続について青写真(建替・改築等)を描き、実施に向けての礎を作る。
- 2) 法人の中長期計画に基づき各拠点における中長期計画に基づき、必要利益の見える化を図る。
- 3) 人材確保・人材育成のための指針づくりを進め、各種制度(人事・給与等)の刷新に向けた準備を進める。
- 4) 引き続き、地域における公益的な取組を促進させ、法人内事業所での新たな試みを支援する。

具体的取組み

I 中長期計画に基づく具体的取組み

1. 高齢者保健福祉計画・第 7 期介護保険事業計画の内容を踏まえ引き続き、菟道特養等建替に向けたアクションを行い、具体的な工程、図面、資金調達計画等を立案する。
2. 明星保育園の認定こども園への指定変更について検討する。
3. 引き続き、賃貸契約が終了する平成 33 年を見据え伊勢田明星園両グループホームの今後の事業展開について検討する。
4. 法人への分担金等の在り方について検討し、本部機能の機能強化を図る。
5. 法人 PR(パブリック・リレーションズ)活動について検討する(自主財源の確保等含む)
6. 人材確保・人材育成のための指針を策定し、各種制度(人事・給与等)の刷新に向けた計画づくりを進める。

II 地域における公益的な取組み

1. 各事業所・拠点において実施している、地域における公益的な取組みを展開、充実させ、社会福祉法人としての役割を社会に向けて発信する。
(以下、実施事業)

取組拠点(事業所)	取組内容
白川明星園 ケアハウスあさぎり 白川介護サービスセンター 伊勢田明星園グループホーム	平安ロマン号 サロン白川との交流・合同事業 神明カフェ なごみカフェ/認知症相談窓口の開設/ 伊勢田保育園 年長組との合同散歩/認知症相談窓口の開設/認知症 キッズサポーター養成講座
菟道明星園 小倉明星園 伊勢田明星園 明星保育園	三室戸小学校児童絵画展/明星地藏盆 うたごえサロン/きらめき創作教室 ボランティアルーム開放事業 園庭開放(遊びの広場)/クリスマス会/ 卒園児同窓会に伴う施設開放支援

2. 社会資源の共有の視座から、地域に開かれた実践として「第 10 回(仮称)実践研究発表会」を開催する。
3. 地域包括支援センター(初期認知症総合相談支援事業会)等の公益を目的とする事業(定款第三八条)の補完的な役割として、同事業から派生するニーズ等に呼応した公益的な取組を实践する。

Ⅲ ガバナンスの強化に向けた取組み

1. 情報の開示の視点から平成 29 年度版「一年のあゆみ」を遅くとも年内に発行する。
2. 業務執行状況をモニタリングできるよう法人事務局に代わる組織(常務会等)を稼働させ現場レベルでの相互牽制機能を高めていく。
3. 景気動向や政府や日銀の動きをつぶさに観察し、機動的に対応できる(借入時期や補助金の申請、資産管理)組織態勢をつくる。(管理職会議、常務会、理事会等)